

まちの魅力再発見

あみっぺ が行く

こんにちは、あみっぺです！
今回はあみスポーツフェスタ 2022
『ちびっこ相撲大会』取材しました！



2

足踏みして
踏み固める



1

トラックが到着！
約12トンの土を
約6m四方の木枠に流し込む



3

タコという道具で
土を押し固める



5

中心に釘を打って
縄を取り付けて
コンパスのように
円を描く



4

タタキという道具で
表面を整える

土とは思えない、硬いものを
叩いているような音がしたよ！



6

クワなどで円の
ふちを削って
俵を埋める



8

ペンキで
仕切り線を引く



7

再度タタキで表面を
平らにならす

ポクもお手伝い♪



9

完成！

まわしをつけて
もらって記念撮影
したよ！

作業開始から約5時間、
土俵が完成！

前日の土俵づくりに密着！

大会前日、二所ノ関部屋の十両呼出の祿郎さんと東洋大学附属牛久高等学校相撲部のみなさんと土俵づくりが行われました。
土俵ってどうやってできるのかな？

ちびっこ相撲大会当日!



令和4年10月16日、町

総合運動公園多目的広場にて、あみスポーツフェスタ2022『ちびっこ相撲大会』が開催され、小学校1年生から6年生まで41人のちびっこ力士が出場しました。大会は二所ノ関部屋と東洋大学附属牛久高等学校相撲部のみなさんの協力で運営され、5年生の部では中村親方が、6年生の部では二所ノ関親方がそれぞれ審判を務めました。取組が始まると、ちびっこ力士たちや観客から「頑張れ!」「いいぞ!」という声援や拍手が飛び交い、大いに盛り上がりました。大会終了後には土俵が一般開放され、ちびっこ力士だけでなく、大人も二所ノ関部屋の力士に勝負を挑みました。

① まずは準備体操



③ 説明を真剣に聞く
ちびっこ力士たち



② 四股にも挑戦



④ 取組の様子



みんな頑張れー!

参加した親子にQ&Aインタビュー

二所ノ関部屋ができたことをきっかけに、お母さんの勧めで出場したという遠藤悠吾さん。参加してどうでしたか?と聞くと「楽しかった、来年も出たい」と意欲をのぞかせていました。

父・智士さんは試合後の一般開放で花房に挑戦。「やはり本物は違うな。重かったです。来年も機会があれば挑戦したい」と智士さん。

遠藤悠吾さん(写真右)



父・遠藤智士さん(写真左)



来年も親子そろっての参加お待ちしております!
次は「1月号お知らせ版」で会おうね!



入賞した4・5・6年生のみなさん



入賞したみなさん、おめでとうございます!

